

大賞

地域住民の手で成し遂げた 国内初の自動運転バスの社会実装

誰もが生活の足に困らぬ町を実現

茨城県境町が運行する自動運転バスは、住民や町内

企業が自発的に受け入れる工夫をしているのが特徴だ。行政側からの依頼なく、バス停への私有地提供をはじめ、路上駐車の削減支援、自動運転関連の広告や商品開発などを行っている。その結果、「誰もが生活の足に困らない町」と安全円滑な運行を実現し、全国で初めて自動運転バスの社会実装を実現した。

境町は、2020年11月に自動運転バスの定常運行

を開始した。鉄道駅がな

った。
決められた路線を低速で
運行する自動運転バスは、
町内交通流のペースメーカ

ーの役割も果たす。制限速
度を超えて走行する車両も
多いのが実情だが、低速な
自動運転バスが高頻度で走



行することで、速
度超過する車両が
減り、交通安全に
つながっている。
電動バスは走行
時の温室効果ガス
排出削減にも寄与
する。さらに、目
的地となる施設整
備も並行して行う
ことで、域内の移
動総量を増加させ、地域経済の活
性化や高齢者の健
康増進にも役立
てている。

る方針だ。
自動運転バス導入に当た
っては、町在住デザインナ
ーによる外装デザインのほ
か、住民デザインのラッピ
ングも施した。これらをモ
チーフとしたバッジやステ
ッカーを配布しているのも
住民の愛着を高める工夫
だ。また、幼稚園児や小学
生などを対象とした視察・
教育プログラムも実施。先
端技術を身近に学ぶ機会を
提供するとともに、SDG
s（持続可能な開発目標）
貢献に対する意識の醸成に
もつなげている。

沿線住民をはじめ、町ぐ
るみで積極的に受け入れる
ことで、単なる移動手段に
とどまらない存在となっ
て

茨城県境町（BOLDLY）

〈受賞者コメント〉茨城県境町の自動運転車による公共交通への住民との取り組みに対する評価に、感謝を申し上げます。我々の取り組みはシンプルに困っている人を助ける、というもので、その手法として全国の自治体で初めて自動運転車の常時運行を決断しました。境町の取り組みが全国の公共交通の課題解決の一助となればと思っております。BOLDLYをはじめ関係各位の皆様にご感謝を申し上げます。